

部長	理事	課員	担当者

## 議事録要旨

会議名	第6回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会
日時	令和2年1月30日(木) 19:30~21:00
場所	あわらし役所 301 会議室
出席者	<p>&lt;部会員&gt;            市民/笹原修之(部会長)、高木めぐみ、西田幸男、森嗣一朗            福井工業大学/川島洋一(教授)            (一社)あわらし観光協会/津田香由紀            あわらし文化協議会/堀田あけみ            あわらし商工会青年部/松川秀仁            花咲ふくい農業協同組合/唯内 努、山口利志実            芦原温泉旅館協同組合/山口賢司            音泉組/青柳淳一            農家カフェ/藤井和代</p> <p>&lt;事務局&gt;            新幹線まちづくり課/永井理事、翠補佐、赤神主任            商工労働課/中島補佐            観光振興課/堀江課長、細川補佐、杉本主事</p> <p>&lt;オブザーバー&gt;            あわらし/佐々木市長            (株)木下設計/木下貴之、片山雅哉            (株)コム計画研究所/鈴木奈緒子</p>
欠席者	<p>&lt;部会員&gt;            市民/八木康史            あわらしコミュ/圓道千鶴子            ゲンキッズステーション ASOVIVA!/長田康秀</p>
内容	<p><b>1 開会</b>  <u>事務局:</u>            ・昨年8月末以来の部会開催となるが、その間、(仮称)JR芦原温泉駅西口駅前広場について、皆様からいただいたご意見を基本設計に反映する作業を行い、ある程度内容が固まってきた。本日は、その進捗報告をさせていただきたい。</p> <p><b>2 部会長あいさつ</b>  <u>部会長:</u>            ・前回部会から時間が経過しているので、記憶を呼び起こしながら進捗報告を聞いてほし</p>

い。

- ・今年度は、主に賑わい広場の機能性について協議を行ってきたが、行政側でできることと民間側でやらないといけないことがあると思うので、デザイン部会としては大きなハード整備の意見集約を踏まえて、所属する各団体に持ち帰ってソフト面の活動へとつなげていただきたい。
- ・本日は、忌憚のないご意見をお願いしたい。

### 3 報告事項

#### (1) 西口駅前広場（賑わい広場）について

##### 事務局：

- ・資料1～3を基に、平面計画、イメージパース、活用イメージを説明

##### オブザーバー：

- ・賑わい施設内の音響については、100dBを超えると駅舎からの案内放送が聞こえなくなってしまうので、95dBで設計を進めている。イベント時に壁（ガラス）を開けた状態で95dBの音を出すと、周辺の住宅に60dBの音で聞こえることとなる。60dBは話し言葉程度の音量なので、近所迷惑にならないと考えている。ガラスが閉じていれば、さらに音漏れがなくなる。
- ・光については、天井から床まで行き届くように設計している。

##### 事務局：

- ・ただ今の説明を受けて、部会員の皆さんから質問等があればお願いしたい。

##### 部会員：

- ・ステージイベントをする際に天井からの光だけでは足りないように思うが、ステージ用の照明は何かないのか。

##### 事務局：

- ・別途、利用者にステージ用のソフト照明等を持ってきてもらうことになると思う。

##### 市長：

- ・イベント慣れしている人たちがステージイベントをするのであれば自分たちで用意すると思うが、子どもたちの発表会をする際に自分たちでは用意できないと思う。例えば、柱にステージ用のスポットライトを設置することなどは考えられないのか。

##### 部会長：

- ・ある程度決まった位置のステージを想定して、スポットライトやダウンライトを設置しておく必要があると思う。それ以外の場所にステージを設置するのであれば、利用者側で対応すればよい。

##### 事務局：

- ・そのように検討していきたい。

##### 部会員：

- ・賑わい広場について、屋台が入れるようにフラットな造りにしているとのことだが、誤って県道から車両が進入したりする危険があるのではないのか。

##### 事務局：

- ・歩道と広場の境はフラットであるが、車道と歩道の間に境界ブロックを設置して、車両

が入らないような安全対策を講じる予定である。

市長：

- ・空調は、天井と床のどちらに設置するのか。

事務局：

- ・天井からである。

市長：

- ・空調も然り、施設運営にあたってはランニングコストを抑制していく必要がある。その意味では、大型スクリーンも常時付けずに一定時間のみ付けるといったことも検討したい。

事務局：

- ・給排水は、給水設備と排水設備を同じ場所に設置するという事か。

事務局：

- ・そのとおりである。柱の近くなど、10箇所程度設置する予定である。

事務局：

- ・賑わいホールの中で煙が出るようなイベントをすると維持管理が大変なので、広場内の給排水設備の近くでするといったルールづくりも必要である。

部会員：

- ・イベント時に炭を使ったりすると、ガラスや天井、床を汚してしまう心配がある。

オブザーバー：

- ・天井のガラススクリーンの上が少し空いているので、ある程度のイベントは可能だと思う。

事務局：

- ・ホール内では煙が充満するので、煙や臭いの強いものは広場内でのみ認めるなどのルールづくりが必要になると思う。

市長：

- ・今協議していること以上にいろんな課題が出てくると思う。ここを運営する組織づくりや施設管理の在り方について、来年度専門部署を設けて行う予定なので、今後とも皆様のご協力をお願いしたい。

部会員：

- ・ガラスの強度はどの程度か。

オブザーバー：

- ・今は未定だが、今後行う実施設計で風圧計算を行って決める予定である。アクリルよりはガラスの方が劣化しにくい。

部会員：

- ・終電後は消灯するのか。

事務局：

- ・施設は消灯と思うが、自由通路は終日点灯している。

部会長：

- ・ということは、賑わいホール南側のトイレは夜間は閉まっているということか。

事務局：

- ・現時点ではその予定である。夜間は、自由通路下のトイレを使ってもらえることになる。

部会長：

- ・ユニバーサルトイレは賑わい施設内にしかないのか。

事務局：

- ・市の施設ではそうなるが、新幹線駅舎内にあるので、そちらを利用していただくことになるであろう。

市長：

- ・飲食・物販店舗については、来年度にテナントを募集する予定である。事業者が決まるまでは、中身や運営方針を決められないが、現時点で 24 時間営業したいと言っている事業者もいる。
- ・2階の魅力体感スペースは、観光案内所では伝えきれない嶺北北部の魅力を発信する拠点として整備する。現在、(株)丹青社の協力を得て、基本設計を行っている。あわら温泉や坂井北部丘陵地、あわらの食などを紹介するコーナーや市民ギャラリー、キッズスペースを設ける予定である。その他、東尋坊、永平寺、恐竜博物館を核として、本物の魅力を発信したいと考えており、各観光地と調整を行っているところである。あまり見せすぎず本場に行ってみたいと思わせる仕掛けづくりをしていきたい。

部会員：

- ・賑わい施設内のロッカーはなくなったのか。

事務局：

- ・ふるさと回廊内に予定している。

部会員：

- ・物販店舗では、何を売するのか。

事務局：

- ・地域の土産物を販売する予定である。

市長：

- ・メイドイン福井・あわらの地域の逸品を販売してもらいたいと考えている。

部会員：

- ・事業者が販売するということか。または、物販スペースで自分たちが商品を販売できるということか。

市長：

- ・前者である。自分たちの商品を販売したい場合には、各々で事業者と交渉してほしい。

部会員：

- ・魅力体感スペースや飲食・物販店舗の話聞いて、どちらかという観光客向けの施設だと感じたが、地元の住民が利用したくなるような仕掛けはあるのか。

市長：

- ・飲食・物販店舗については、地域住民も利用したいと思えるテナントに入ってもらえる予定である。

部会員：

- ・魅力体感スペースに人を呼ぶ仕掛けとして、例えば、チームラボや蜷川実花氏などの著名人にプロデュースしてもらえると効果が大いと思う。

市長：

- ・魅力体感スペースの基本設計を委託している(株)丹青社は、敦賀赤レンガ倉庫のジオラマ館や一乗谷朝倉氏遺跡博物館なども手掛ける全国有数の専門家であり、この事業者とタッグを組んで人を呼び込む仕掛けづくりを検討している。加えて、恐竜博物館や永平寺等ともコラボして、本物の魅力を発信したいと考えている。

部会員：

- ・西口の賑わいについては理解できるが、新幹線の高架下（東口）に赤ちょうちんがあると地元の人も行き交うようになって賑わいが生まれてよいと思うが、何かに活用する予定はあるのか。

事務局：

- ・高架下には、施設の中継機や駅レンタカーの用地としての利用が予定されており、スペース的にその他の活用が難しい。駅舎から離れた場所であれば活用できるところもあると思うが、使用料も安くはないのである程度収益が見込めるものを考えなければならぬであろう。

#### 4 その他

事務局：

- ・今年度のデザイン部会については、本日をもって最後となる。部会員の任期が令和2年3月31日で満了となるが、来年度以降も引き続き、皆様に駅周辺のまちづくりについてご協力をお願いしたいと考えている。来年度以降の体制が決まれば、改めて、ご依頼させていただきたい。

#### 5 閉会

事務局：

- ・部会員の皆様には、西口駅前広場の基本設計を実施するにあたり、プレーヤーとしての慎重なご審議ならびに貴重なご意見等をいただき厚くお礼申し上げます。来年度は、実施設計を行う予定であり、引き続きのご協力とご支援をよろしくお願いしたい。